



インスピレーションになろう

Rotary International District 2800

山形西ロータリークラブ会報

会長：小林 恵一 幹事：菅原 茂秋

地区目標 「ロータリーの原点に戻ろう」 BACK TO BASICS

クラブテーマ 「あなた自身のロータリーを生きる」 ところに奉仕と友情の灯をともしよう

◆点鐘：小林 恵一 会長 ◆ロータリーソング：我等の生業
◆司会：新藤 幸紀 S.A.A. ◆会場：大沼デパート



Yamagata West Rotary

第2819回例会

平成30年7月30日(月)

会長挨拶

小林 恵一 会長



暑い日が続いております。先週28日(土)は、地区青少年交換・学友小委員会&オリエンテーションが酒田市で開催され、前年度佐藤英一青少年委員長、本年度海和将浩青少年委員長、私の3人で出席して参りました。

2017-2018年度、地区内4名の派遣留学生在がブラジル、アメリカ、ハンガリー、台湾から、それぞれ帰国されロータリーの親善大使として立派に使命を果たしてこられたようです。昨年当クラブから派遣しておりました小林由佳さんもブラジルから元気に帰国し報告されておりました。9月になりましたら、皆さんの前で改めて報告があろうかと思っております。ご期待頂きたいと思っております。

地区青少年委員会は引き続き今年も5名の派遣留学生をフランス、ブラジル、アメリカ、ドイツに送ることになっており、これと引き換えに当地区に5名の受け入れをも決定しております。従来は2~3名以内の規模に留まっていたものが、徐々に拡大傾向へ向かっている実態を認識しておく必要があります。

また2020年5月16日(土)に、日本青少年交換研究会が当地山形で開催されます。これらを踏まえ、我がクラブとしても今後の対応を検討していくべきと考えております。

さて1年前、国際ロータリー理事会は、新たにビジョンを採択しました。それは「ロータリーは、世界で、地域社会で、そして自分自身のなかで持続可能な良い変化を生むために人々が手を取り合って行動する世界を目指しています」というものです。

これをバリー・ラシンRI会長は、キーワードはサステイナブル持続可能で私たちロータリアンの活動が終了した後もずっと続く変化を生み出すために地域や世界で活動しましょう。そして何より大切なのは、自分自身に変化を生み出すために、私たち自身がより良い人間になるために行動しよう。

持続可能な奉仕とは、活動のすべてを、全世界的な生態系の一部として捉える。環境問題の影響に取り組むことで持続可能な奉仕活動を行いインスピレーションになってほ

しいとされています。

きれいな水、空気、大地は、健全な地域社会にとって欠かせません。そして、私たちが求める、より良い、より健全な未来にとっても欠かせないものです。

力を合わせれば私たちは世界にインスピレーションを与えることができるのだと結ばれております。

今日はRIの動向について、その一端をご紹介させて頂きました。本日の挨拶とさせて頂きます。



幹事報告

菅原 茂秋 幹事

●明日がちょうど会費の納入期限になっています。大半の方はもうご入金いただいているかと思いますが、お忘れなきよう何卒よろしく願い申し上げます。

各委員長方針説明



出席委員会

武田 博文 委員長

3つの大きな目標を掲げておられて、第1が100%出席例会を年3回達成を目標ということで小林会長にご指示をいただいております。なお、欠席がちな会員へのお声掛けをしております。第2に、年間出席率95%以上を目標といたします。第3に、会員メールボックスの管理ということで、欠席者にお届けしたり、ご郵送したりお声掛けをしております。

この委員会は皆さまのご協力なしには成り立ちませんので、何卒ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



親睦家族委員会

武田 岳彦 委員長

委員会の事業目的は、名前のとおり事業を通して親睦を図りながら会員同士の絆を深めていくのが1番の目的で、年間を通してがんばっていきたいと思っております。

また、昨年の委員長さんから親睦・家族の「家族」というところが大事だよというお話をいただきました。私事ですが、父親が長い間ライオンズクラブに在籍をしております、私がロータリーに入った最初の年に、家内に花束が届いたのを見て、うちの母親が「あら、ロータリーさんはいいわね」と言ったんです。「ライオンズは何十年いても私になんにもないわ」みたいなことを言っておりました。先ほどの武田秀和くんのニコニコにもあったように、ちょっとした心遣いが、やっぱり大切なんだなと思っております。

家族に応援していただけない組織は地域や社会にも応援していただけないと思いますので、その辺のところも心掛けるながらがんばっていきたいと思っております。

具体的な事業といたしましては7つありまして、まず1つ目が会員ならびに奥様の誕生日のご紹介。2つ目が会員奥様のお誕生日プレゼント、今年から奥様がいらっしゃらない会員様もおられますので、年会費同じく払っているということもありますし、その皆さまにもお誕生日のお祝いの品を届けるように先般のクラブ協議会のほうでも話をさせていただきました。身に覚えのない品が届いたからといって不審な物ではないので、快く受け取っていただけたらと思います。

3つ目がビアパーティ、先般開催させていただきました。ご参加大変ありがとうございました。4つ目がクリスマス家族会、5つ目が新年会、観桜会、そして最終例会と続きます。クリスマスと観桜会が家族参加ということで家族の皆さまにもお呼びかけをしておりますので、ご参加よろしくお呼びかけをしたいと思います。



プログラム委員会

木村 孝 委員長

プログラム委員会は卓話のプログラムを早く決めるということですが、前半戦は、新しい会員の皆さまの卓話をお願いして、それで12月から東京2020に向けて県内でスポーツで活躍している方、監督さんをご一緒にお呼びして、東京2020に対する考え方とか県内の活躍ぶりをお伺いしたいと

思っています。4月、5月、6月については、山形県内で活躍している女性の経営者の方をお呼びして、これまでになり女性の話を聞こうかなと、今、3、4名お願いをしているところであります。

いずれにしても楽しい卓話を、皆さまにお届けをしながらあとはいろいろと変わった方をお呼びしながら今年1年間プログラム委員会で進めたいと思っておりますので、よろしくお呼びしたいと思っております。



友好クラブ委員会

戸田 正宏 委員長

昨年は、高知南ロータリークラブから表敬訪問をいただきました。その内容は創立60周年の祝賀会が11月3日に予定しておりますので、それに向けての表敬訪問ということで、親しく懇談をさせていただいたところございました。そこで皆さまに、このご案内を差し上げたところでございます。7月に入ってすぐ情報を提供させていただきましたけれども、早割で3カ月ぐらい前に確定をしておかなければならないということで、段取りをしていたわけですが。私が添乗員をしようかと思ったら、余計なことするなということで、「トラベルパートナー」をお願いしております。そのトラベルパートナーの三浦達雄社長さんが、このクラブに入会して、添乗員もしてくれる。まだ、確約はしておりませんが、そのような手はずになっております。大変心強いと思っております。

目標は30名という数字を予定しています。30名なかなか集めるのは大変だとは思いますが、ご夫婦でのご参加も非常に歓迎しております。金婚式とか、いろんな節目で、奥様も是非お連れいただきまして、目標の30名を超えて欲しいと思っております。今現在、何名か全く把握しておりません。今日、小関さんがお休みということで、尚更分かりませんが、30名に向けて、今一生懸命頑張っておるところです。30名に満たなかったら、追加で皆さんにご案内を差し上げるかもしれませんがよろしくお呼びかけをしたいと思います。

どのような経緯で高知南ロータリークラブと友好クラブになったのかを、私なりに調べてきましたけれども、よく分からないというのが正直なところでございます。締結年次が昭和51年12月21日。ですから、45年ぐらいになるんでしょうか。そのくらいの歴史があります。どのような経緯でそのようになったのかと言うと、当時の三井生命の鈴木会員が仲介してできたということになっております。その三井生命の鈴木さんという方は、転勤で高知から山形にいらっ

しゃったのか、山形から高知に転勤なされたのか分かりませんが、その辺の事情できっと高知も山形も非常に魅力的に感じて、友好クラブを作ろうということになったんだろうと思っています。

当クラブでは、ガバナーを4名も輩出しておりますので、そのたびに高知南からお客様をお呼びしたり、または周年事業で行ったり来たりということで友好を深めております。

私の1番の友好クラブの目的は、対外的なことはもちろん、クラブ内の友好も1つの目的ではないのかと思っています。

高知南ロータリークラブを通して、我々、西ロータリークラブの皆さんと友好を深めたいと思っています。特に入会間もない人は、こういう案内が来ても「俺には関係ねえな」とか「敷居が高い」とか「暇がない」「余裕がない」いろんな言い訳をつけて欠席ということで簡単に流してしまうものでございます。私の経験からも、こういうことはいけないということで、やっぱり1度は「行ってみようか」と熟慮して、そして内容も精査して、11月3日、4日、5日の3日間ぐらいは、皆さんそれぞれの立場にいらっしゃる方ですので、何とか都合がつくのではないかと考えております。

そういうことで、やはり1回は行ってみようかという気持ちになっていただきたいと思います。私も思い切って高知南に入って間もなく参加してみました。そしたら、私、当時は新人なんですけれども、新人もベテランも高知南からすればさっぱり分からないわけです。大歓迎を受けて非常に気分を良くしたと思っています。

また、入って間もない方、あまり我々と交流を持つ機会もないと思いますけれども、2泊3日行動を共にすると非常に親しくなるというか、仲が良くなります。本当に知らなかった人のご縁がそういうところにつながりますので、是非是非、再度1回、欠席で出した方も再度考えて出席ということで、再ファックスをいただきたいと思っています。締切は、今日までとなっておりますので、是非帰ったら「あら、なくなったな。これ、欠席にしてゴミ箱に捨てたっきゃあ」という人は、是非、私に言ってください。口頭での参加もOKでございます。ひとつよろしく願いいたします。



職業分類委員会

結城 和生 委員長

2016年に規定審議会で、従来のような職業による案件は柔軟性を持つようになってまいりました。クラブの職業においてバランスのとれた会員構成は守りながら、会員を選

考していきたくております。8月末までに社会情勢とか会員の意見などを考慮しながら、職業分類の見直しと未充填分類表の作成をしなければなりません。ですから、8月中に1度3つの委員会が集まって協力したいと考えております。

2番目に職業の未充填分類を全員に認識していただきまして、新規会員によるクラブの活性化を図ることにしたいと思っています。先ほども戸田さんから「トラベルパートナー」ですか、幹事や会長をしているときに、旅行会社がないのがちょっと不便だというのは失礼ですけど、欲しいなと思ったことは何度かありました。今回、その方が入られるようでとても期待しております。そういった情報がありましたら、私たちにも伝えていただいて交渉をしたいと思いますので、何卒よろしく情報を提供していただきたいと思います。そういうことで、会員増強を努めて参りたいと思いますのでよろしく願います。



会員増強委員会

原田 久雄 委員長

当年度は、地区のほうでも会員増強に関しまして、強化する方針でございます。3つの目標を掲げておりまして、各クラブ2名以上の純増。それから入会3年未満の会員への配慮。退会防止の具体策。それからできるだけ若い世代の入会を施すこと。先日も地区のほうから、各クラブの取組みについて、簡単にまとめて報告した次第でございます。

このような状況の中、小林会長の方針に則り、まずは会員数100名の維持が最大の目標でございます。多くの仲間との存在と新規メンバーが加わることで、ロータリークラブの活性化と躍動につながるこの観点より、新規会員3名の会員増強に取り組んでまいります。現状は転勤者による会員以外は、新規会員はゼロの状況でございます。候補者として1、2名のご紹介をいただいております。先ほどお話がございましたトラベルパートナーさんもこの中に含まれております。さっそく申込書を持参してお会いしたいと思っています。

それから、学校関係者も勧誘しているんですけど、なかなか難しい状況でございます。山形市は7ロータリー、それから数多くのライオンズクラブ等も存在しておりまして、本当に競争激化の状況の中で会員増強も簡単にいくわけではございません。会員の皆さまの人脈をフルに活用して情報をいただきたく願います。1年間、どうぞよろしく願います。



**ロータリー
情報委員会**
五十嵐 信 委員長



会報委員会
佐藤 英一 委員長

では、どういうふうなことをするのかと言いますと、「会員、新入会員および県外から入会された会員の交流と情報交換の場を設け、クラブ会員としての活発な活動を支援します」委員会です。プロジェクト自体は4つあります。

1番目西山会の開催。西山会は外から来ていただいた人たちの会です。

2番目ファイヤーサイドミーティングの開催。これは入って経験の浅い会員の方に対しての、一緒にレクチャーをしながら、ロータリーとはこういうものなんだということを勉強する会でございます。実は私、最初に委員長をさせていただいた時、ファイヤーサイドミーティングに呼ばれまして、勉強をさせていただいたことを思い出します。

3番目メイクアップの指導。これは、今年は市村委員長がどうしても「メンバーを連れてメイクに行く」と。メイクの仕方を「ほかのクラブに行って、お教えしながらお連れする」というプロジェクトでございます。これは勝手にではございますが、プロジェクトリーダーとして遠藤靖彦副委員長がさせていただきたいと思っております。

最後、4番目は委員会の職務分掌には記載されていないことですが、クラブ細則をずっと読んでいきますと、クラブ細則の第8条、会員選考の方法、第2節、選考の手続きに、3、新入会員のオリエンテーションをしなければいけない。これは幹事とロータリー情報委員会ですけれども、ロータリー情報委員会の委員長市村清勝委員長と菅原幹事とで共同してやっていくプロジェクトでございます。できる早い時期に西山会とファイヤーサイドミーティングを合同で行いたいと思います。昨年は幹事と会長が「時間が取れない、時間が取れない」と、3月にやってしまったので。今年ではできるだけ早く、12月、1月、3月というのはやっぱり魔の月なものですから、それを外してその前にやっておかないとみんなに集まってもらえない等がございますので、今、会長、幹事とスケジュールの調整をしているところでございます。講師は山形西ロータリークラブを心から愛してる会員をお願いをする予定でございます。

今回、会報はクラブの歴史と歩みの記録であり、後世に記録として残すためのものであるという使命を持ってがんばって作っていきます。会長方針の中でもありましたように、会長あいさつとゲスト卓話については、できるだけ省略せずに正確な内容を掲載するように努めていきたいと思っております。

今期も3回分発行させていただいておりますけれども、ほぼ4ページの発行になっております。予算続く限りがんばって4ページでさせていただいて、途中から2ページになるかもしれませんけれども、その辺はご了承いただければと思います。

他のクラブの会報等も取り寄せまして、読んでもらえる会報になるようにがんばっていきますので、よろしくお願いたします。会報委員会、昨年に比べますと人数は減っておりますが、少数精鋭でがんばっていきますのでご指導よろしくお願い致します。

ニコニコBOX

武田秀和さん / 7/28の妻の誕生日に山形西RCよりお花をいただき、妻がとても喜んでましたのでニコニコします。当日に自分の分のプレゼントが間に合わなかったのも、自分も助かりました。初めてのプレゼントなので喜びもひとしおです。

戸田佳瑞さん / 7/8の写楽クラブ塩釜ツアー、7/19の白ぎくでの反省会、ほんとうに楽しいひとときでした。未熟な案内で申し訳ありません。皆さんに助けられて何とか務める事ができました。次回の遊佐町も、楽しみです。

後藤章洋さん / 7月最後の例会となりました。たくさんの方のニコニコをありがとうございました。今後とも宜しくお願い申し上げます。

<本日出席・修正出席>

	会員総数	出席会員数		会員総数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
本日出席 (7/30)	98名	61名	修正出席 (7/9)	98名	89名	85名	95.51%
メイクアップされた会員	(イフング) 富田 浩志、風間 義朗、橋本 徳光 (山形) 浦口 太門、風間 義朗、橋本 徳光、橋本 慶昭、酒井 啓孝、堀田 稔、伊藤 歩、長岡 壽一、晋道 純一 (山形東) 鈴木 隆一、吉田 福平、海和 将浩、長岡 壽一、晋道 純一、武田 良和、風間 義朗、橋本 徳光、木村 孝、大城 誠司、浦口 太門						